

㈱福岡クリーンエナジー東部工場の概要

1 経 緯

- 平成12年10月20日 会社設立
- 平成13年 2月 6日 用地造成工事着手
- 平成14年 3月12日 現地工事着手
- 平成15年 8月 1日 プラント据付工事開始
- 平成16年12月 1日 受電・試運転開始
- 平成17年 2月23日 ごみ受入開始
- 平成17年 4月 1日 発電機初並列
- 平成17年 8月 1日 操業開始
- 平成18年 3月 3日 ISO14001 認証取得

2 設備概要

		仕 様	
焼却炉 (川崎重工業)	型 式	全連続燃焼ストー方式	
	処理能力	300t/24h (1炉) × 3炉	
ボイラ (川崎重工業)	型 式	水管単胴立形自然循環式廃熱ボイラ	
	蒸 発 量	59t/h (1炉) × 3炉	
蒸気タービン (川崎重工業)	型 式	衝動横置復水タービン(5,600 min ⁻¹)	
	蒸気圧力	3.9MPa	
	蒸気温度	395℃	
発電機 (東芝)	型 式	横置突極回転界磁形3相交流同期発電機(1,800 min ⁻¹)	
	定格出力	29,200kW	
	電圧/周波数	11kV/60Hz	
環境保全設備	ガス減温装置,ろ過式集じん器 排ガス洗浄装置,触媒反応装置 加熱脱塩素化装置,排水処理設備 他		
環境保全協定値	排ガス	協定値(O ₂ 12%換算値)	法規制値
	ばいじん	20mg/m ³ N以下	40mg/m ³ N以下
	塩化水素	30ppm以下	約430ppm以下
	硫黄酸化物	30ppm以下	K値8.76(約1,100ppm以下)
	窒素酸化物	100ppm以下	250ppm以下
	ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ N以下	0.1ng-TEQ/m ³ N以下
	水銀	0.05mg/m ³ N以下	-
工場用地	約58,000m ²		
総事業費	約350億円(内プラント建設費 約315億円)		

《工場の特徴》

- 発電端効率は、国内の廃棄物発電施設の中でトップクラスの20.05%。
- 灰中のダイオキシン低減対策として、加熱脱塩素化装置を採用。
- 省エネルギーを図るため、建物は自然換気、自然採光を考慮し設計。
- 地域との調和を考慮し、建物外観にはアースカラーを採用。

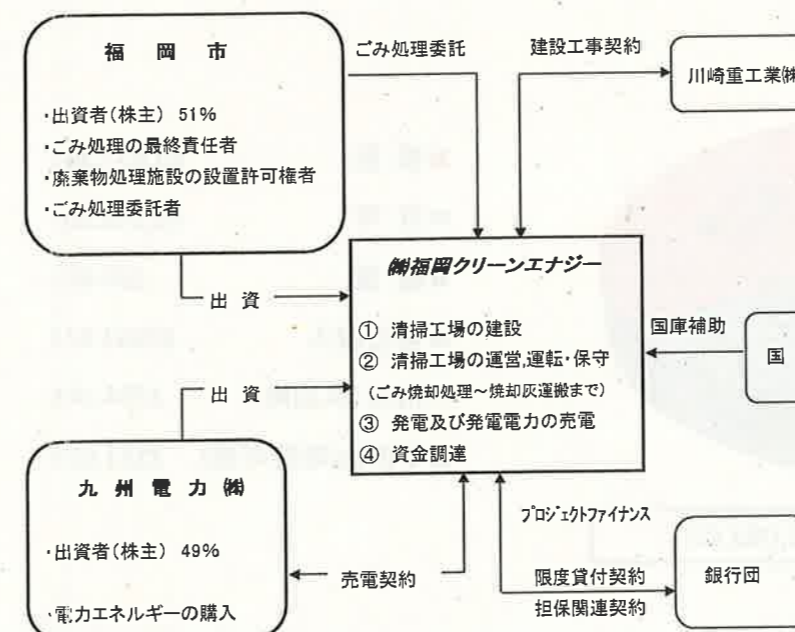
3 運転実績

() : 計画比

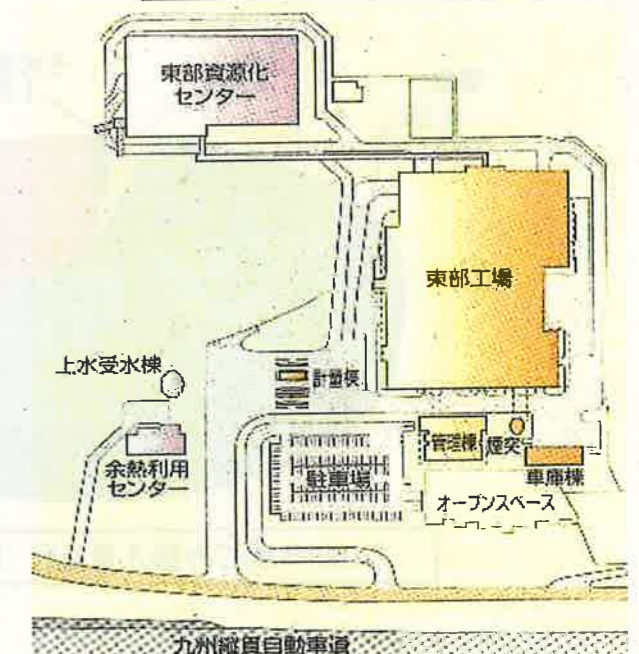
	ごみ受入量 (t)	ごみ焼却量 (t)	発電電力量 (MWh)	売電電力量 (MWh)
H17年度 (H17.8~)	130,613 (95%)	129,893 (94%)	76,720 (107%)	49,668 (108%)
H18年度	205,820 (98%)	204,350 (98%)	117,823 (98%)	75,592 (100%)
H19年度	200,985 (97%)	202,294 (98%)	119,325 (100%)	77,424 (101%)
H20年度	189,430 (95%)	187,086 (94%)	105,695 (92%)	68,036 (92%)
H21年度	184,029 (97%)	186,423 (99%)	104,084 (101%)	67,757 (106%)
H22年度	171,168 (99%)	174,508 (101%)	96,863 (107%)	61,619 (106%)
H23年度	180,082 (103%)	181,189 (103%)	103,036 (106%)	66,625 (106%)
累計	1,262,127	1,265,744	723,546	466,721

- 最近のトピックス
- 定期安全管理審査受審
(1号:H23.4.28)
(2号:H23.6.30)
(3号:H23.8.11)
(蒸気タービン:H21.5.15)
 - ISO14001登録更新
(H24.1.16)
 - 第6回定期修理
(H23.1.30~H23.6.8)
 - 第7回定期修理
(H24.1.30~H24.6.8)

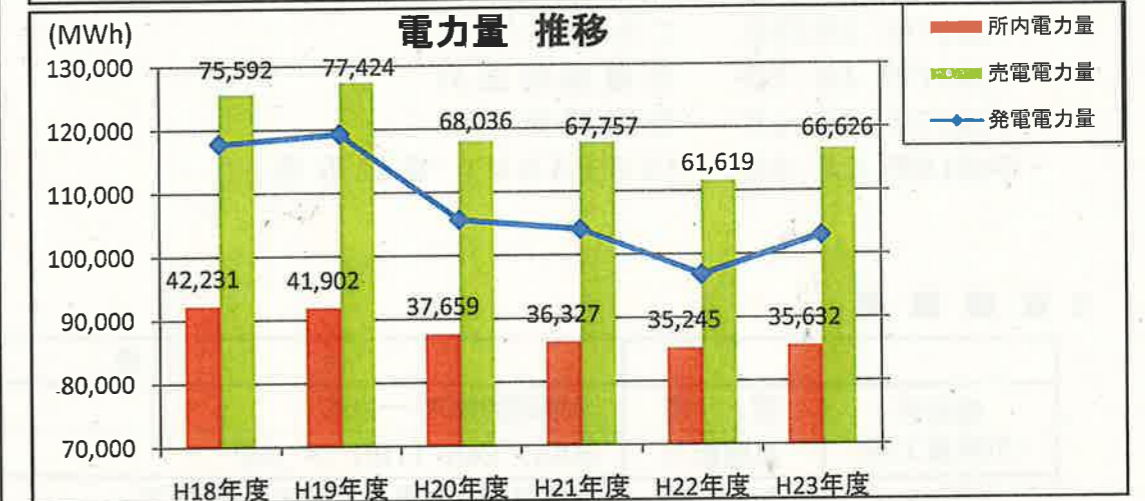
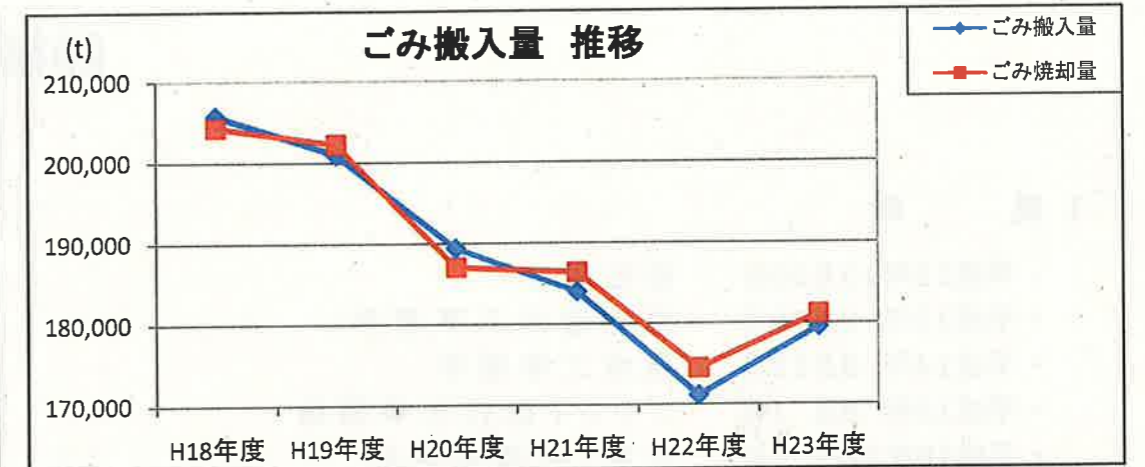
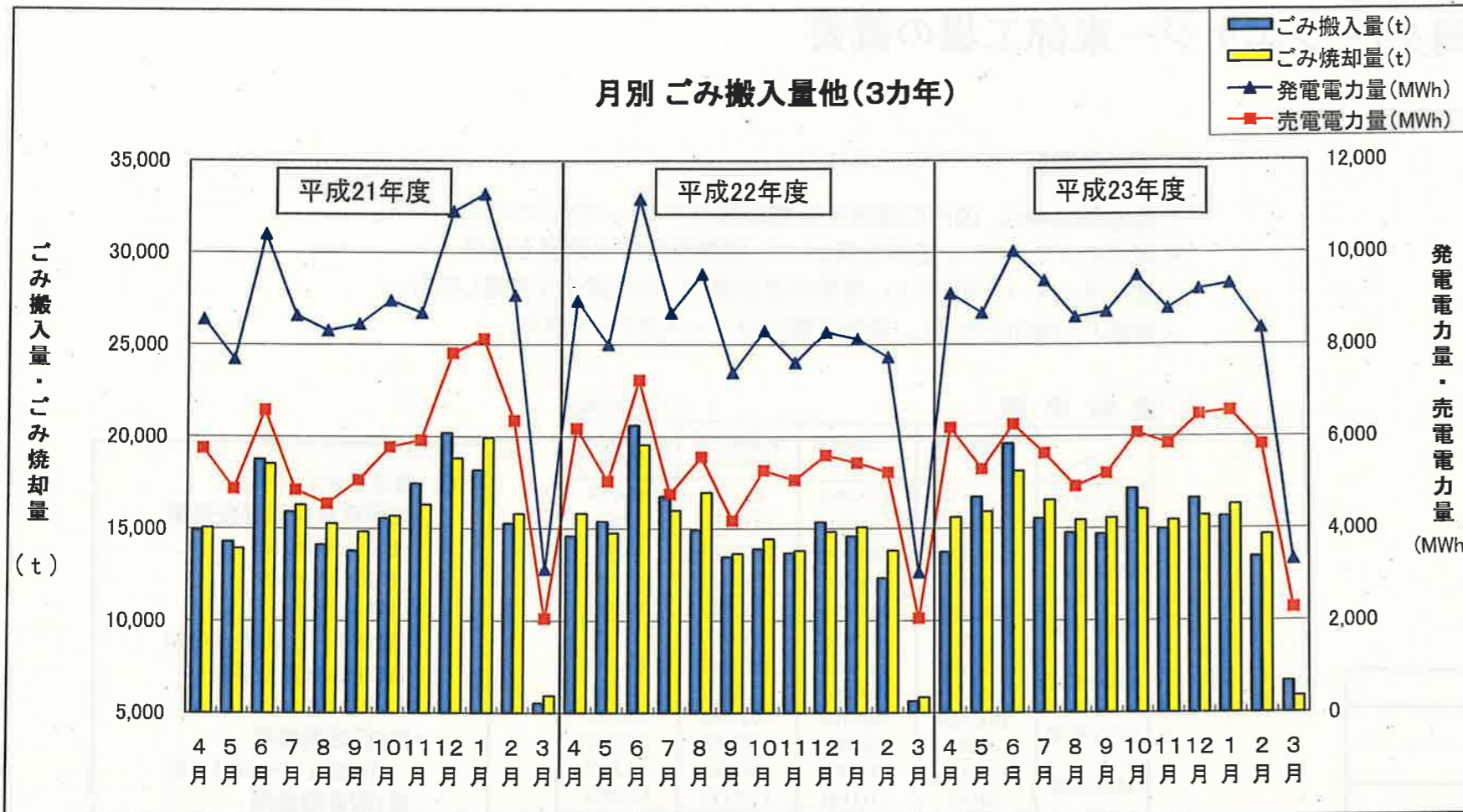
事業スキーム



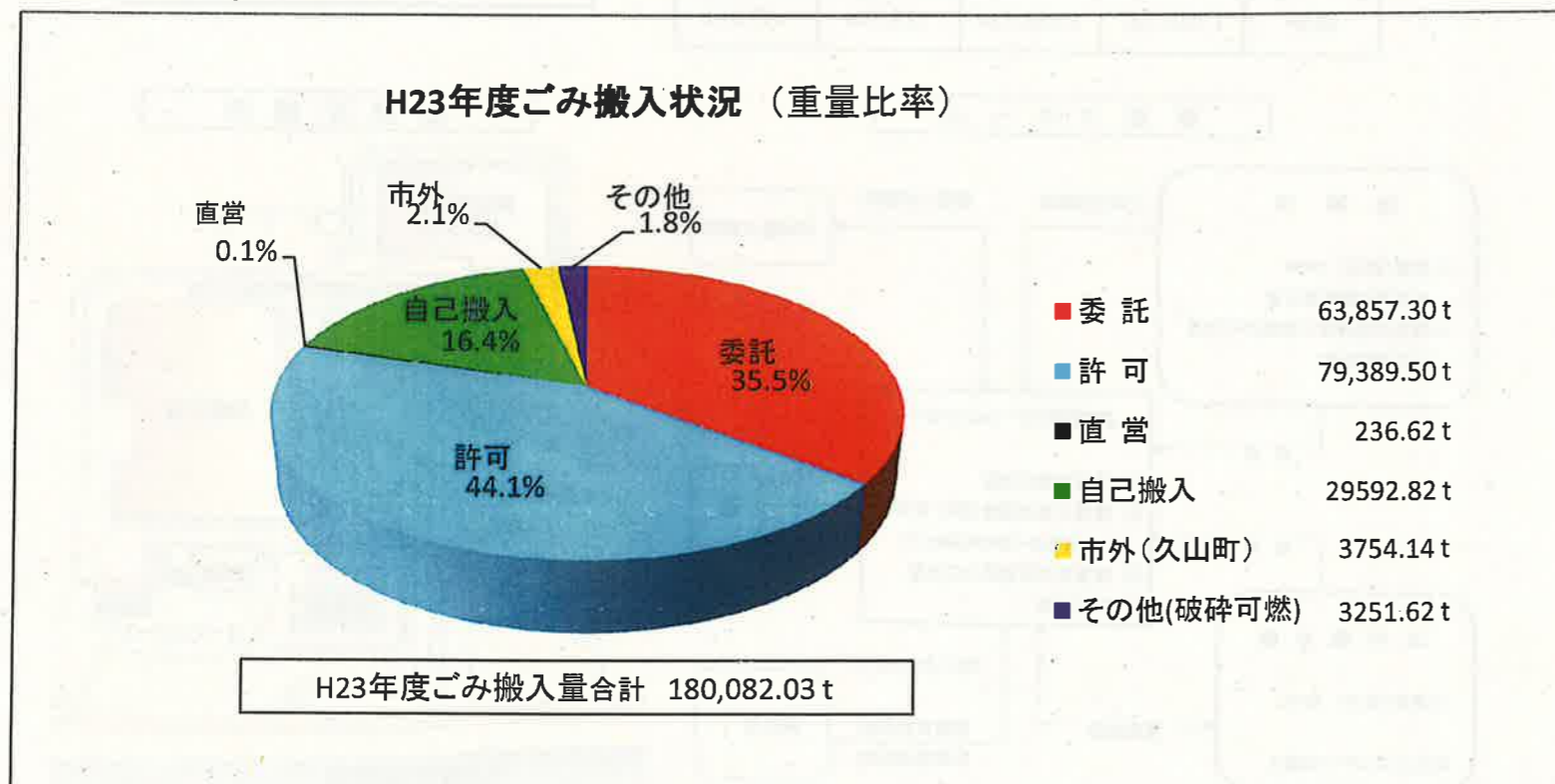
施設配置図



○ 運転実績推移グラフ



○ ごみ搬入内訳



○ 福岡クリーンエナジー組織図

